

おがぴ〜通信 お薬手帳について



おがさわら耳鼻咽喉科クリニック VOL.13

2019年 1月25日 発行

●お薬手帳とは

これまでに服用してきた薬の情報を記録する手帳のことです。いつ、どこで、どのような薬を、どれくらいの量で服用してきたか、履歴を確認することができます。

また、副作用歴やアレルギー歴を記録することもできます。

お薬手帳は調剤薬局で無料でもらえます。

●お薬手帳の意義

①重複投与や相互作用の防止

医療機関や薬局において、お薬手帳の記載内容から、同じ効果の薬や一緒に飲んではいけない薬が処方されていないか、他の治療への影響がないかを確認することができます。

②副作用の再発防止

体に合わない薬を記入しておけば、同じ薬が処方されるのを避けられます。

③緊急時にも安心

普段からお薬手帳を持ち歩いていれば、服用している薬の名前や量を正確に伝えることができるので、旅行先で病気になった時や災害時、救急時にも役に立ちます。

●お薬手帳の有効な使い方

☆1冊にまとめる

医療機関や薬局ごとに複数のお薬手帳を作ると、重複や飲み合わせのチェックができなくなってしまう可能性があります。全ての情報が1冊にまとめられていることが大切です。

☆気がついたことを記入する

薬を服用したあとの体調の変化や薬の効き目についても記録しておく、次の処方の際の参考になります。

☆市販薬も記録する

市販薬にも処方薬と同じような成分が含まれているものや、飲み合わせの悪いものがあるため、記録しておくといいでしょう。

ワンポイント

「お薬手帳を持てば薬代が安くなる？」

薬局で薬を調剤してもらう際には、「薬剤服用歴管理指導料」が発生します。これは、薬剤師が患者さんに安全に薬を使用してもらうために必要な情報を確認・記録したり説明をすることに対して薬局に与えられる報酬のことです。

お薬手帳を持参するかしないかにより、薬剤服用歴管理指導料の金額が変わります。お薬手帳を持参すると、持参していない場合に比べて、3割負担であれば40円、1割負担であれば10円、安くなります。

ただし、安くなるのは、「6ヶ月以内に同じ薬局で薬を処方してもらったとき」に限られます。

★お薬を安全に使用していただくために、受診される際には、お薬手帳をその都度提示していただくようお願いいたします。

ひな祭り

平安時代に貴族の間で行われていた「ひいな遊び」と人の身に忌まわしいことが起きないように人形を川に流して祈った「上巳の祓い」という儀式が一緒になり江戸時代後期に庶民の間に広まったならわしといわれています。女の子の美しい成長と健康を願うひな祭り。ひなあられは昔は釜にこびりついたご飯をまとめて干した飯を作り正月の餅の切れ端を加えて作ったといわれていて「大事にいただく」という教えが込められていたとか。ひし餅は赤・白・緑の3色が多く、赤は解毒作用のあるクチナシの実で赤みをつけ健康を祝い、白は血圧降下作用のあるヒシの実を入れて洗浄を表し、緑は造血作用のあるヨモギを使って萌える若草に例えたとのこと。年に一度の行事を祝ってみてはいかがでしょうか。3/3は耳の日でもあります。耳も大切に。

医療法人社 団 おがさわら
耳鼻咽喉科クリニック

札幌市北区北24条西14丁目3番8号
北24条通メディカルプレイス3階
(TEL) 011-747-3387
(URL) <http://www.oga3387.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~ 12:00						
14:00~ 18:00				休診		休診